

2026年「梵字仏教美術展覧会@泉涌寺」のご案内

夢を叶え時代を推し進める2025年二黒の年から、世界を牽引する2026年一白の年へ。梵字、そして學問を世界へ伝道し、世界中を浄化し、光りの時代を開く、新たなプロジェクトが動き出しました。

半世紀に一度の上野での梵字仏教美術展覧会。表参道から東京中を浄化した2025年。そして、2026年祈りの舞台は、天皇家のお寺・御寺 泉涌寺へ。

いま現在、国内外は数百年に一度の試練に遭遇していますが、政治も科学も医学もなすべはありません。戦争・天変地異・人災事故・飢餓・恐慌・疫病の六大時代検定を防ぐ方法は唯一、人の心と自然を傷つけないことで、学んでもらっている愛と環境の保護です。すでに、塾生は生活の中に取り入れている誠実な経済活動と自然環境の清掃活動です。

六大検定は、人の心が乱れたら起きた現象で“晴れ男、晴れ女”と言われる如く、儒教の天人相関と成っています。初級のNo.1の資料、「元気と景気と大気」でお話ししました。

この好機に、これまで信仰心と経世済民を学んだ塾生一同が、かつて皇室と高僧の方々が実践してくれていた祈りによって、人々の生活と社会を救済する努力を推し進めています。

博多も京都も東京の御祭りも、災いを“払い清める”ための祭祀です。天を敬い人々を愛する願いで幸福を築きたいと考えています。

人や自然を傷つけ、人生に不平不満を持つ荒れ果てた心が災いをもたらしています。生活態度を改め、天然の免疫力を強化する祈りが、薬の文字が入らない処方箋本来の意味です。

『気の學問』はその修學研修において、幸運にも皇室とゆかりのある神社仏閣での学びがあります。伊勢神宮、高千穂神社、宗像大社、明治神宮、京都靈山護国神社、靖国神社他があり、お寺では、法隆學問寺、信貴山、東大寺、四天王寺、高野山、教王護国寺(東寺)、蓮華王院三十三間堂、御寺 泉涌寺、大覚寺他に崇拝させてもらっています。

21世紀、世界の中心は日本、日本の中心が東京です。最後の直弟子となる塾生の皆様は、梵字を継承し、全ての宗教戦争を治め、世界を平和と繁栄に導く使命を担っています。

次回の梵字仏教美術展覧会は2026年8月、国家安寧の祈りの原点、天皇家のお寺・御寺 泉涌寺にて1ヶ月開催をする予定です。一人一人が光りと戦士となり、全法友と共に、祈りの力を合わせ、日本中の幸せを願い、靈的な行事を執り行いますので、心を一つにして天下国家の安泰を祈願してもらいたいのです。

この実践が本来の経済學、“經典の真理を学び人々を救済する”信じる者としての儲かる行為、ヘルメス式宗教活動としての経済です。修得法は、既に授業や課外研修で学んできたことの実践になります。

既存の価値観やお金・権力ではなく、人生観を高めて精神性を強化した法友サンガの集合信念で災難を乗り越え、社会の繁栄に貢献したいと考えています。